

## 平成27年度特許情報普及活動功労者表彰

# 一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報活用研究功労者】

アジア特許情報研究会 事務局代表  
伊藤 徹男

### 功 績

JSR 株式会社にて主にメディカル材料の開発に従事された後、1999年に同社知的財産部へ移籍されました。2000年度の日本プラスチック協議会（知財情報研究会）への参加を皮切りに、日本知的財産協会、知財研修セミナー「知財寺子屋」、特許検索競技大会実行委員会等に所属し、知財情報関係の情報収集や研修講師などを担当し、約15年間、特許情報検索分野の人材育成に貢献をされました。

また、アジア地域の特許情報が殆ど流通していない状況を鑑み、2008年に任意団体「アジア特許情報研究会」を創設され、企業知財担当者と共にアジア・新興国の特許情報をテーマとした研究に着手したことは、特許情報分野で高く評価されるべきであり、特許情報の活用研究に多大な貢献をされました。

同研究会は、会員企業から会費を徴収しておらず、ボランティアで事務局の業務全般を賄うなど、その貢献は顕著であり、研究会メンバーによる外部発表は50件に達しており、その多くに伊藤氏が参加し、発表等を行っておられます。

この度は、「日本特許情報機構理事長賞」受賞の栄誉に賜り、身に余る光栄と恐縮しております。本受賞は、これまで関わってきた知財情報関係の研究会や日本知的財産協会をはじめとする関係機関に所属し、好奇心を持って研鑽に励み、多くの方々のサポートがあってこそであると認識しております。改めて関係した皆様に感謝申し上げます。

中でもアジア特許情報研究会の知財情報担当者とアジア・新興国の知財情報研究に没頭できたことは幸せであると思っています。今後とも同研究会のモットーである「新規性、進歩性ある知財情報研究」と、「研究成果物は対外的に公表する」という特許制度にも共通した方針の元、「対外発表することもスキルの1つ」として発表未経験者に優先して発表していただくことや日本特許庁特許情報室をはじめ、JETRO バンコク、JETRO 北京、中国 IPG、台湾特許庁など日本国内のみならず海外の多くの関係機関との情報交換も積極的に実践していきたいと思っています。

今後ともアジア特許情報研究会の知財情報担当者と共にご支援いただければ幸いです。

